

2015 度青島日本人会 総会

議 案 書

2015 年 4 月 18 日(土)
15 時 30 分～17 時
於:青島香格里拉大酒店

第 1 号議案 2014 年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 会計報告

第 3 号議案 会計監査報告

第 4 号議案 2015 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2015 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 収支予算案

以上

第1号議案

(1)2014年度活動報告(全般)

青島日本人会会長
樋口 達之

1.はじめに

会員の皆様、いつも青島日本人会の活動・運営に、多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。また、本日はご多忙のなか、本総会にご出席頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、日中関係は昨年11月の北京でのAPECの際に懸案であった日中首脳会談が漸く実現し、関係改善の兆しが出て来ております。勿論、今年終戦70周年を迎え、8月安倍首相がどんな演説を行うのか、中国政府が注視している状態ですが、少なくとも昨年より改善されつつあるのは間違いないと考えております。

一方、中国では習近平体制がかなり強い指導力を発揮して、体制固めを進めており、「新常态」という言葉が中国の変化を代表するものとなっています。中国に進出している日系企業もこの「新常态」を見据えた経営を如何に進め行くかが重要な課題となっています。その中でも青島の日系企業におかれましては、人件費・諸物価の高騰と更に進んだ円安という環境の中、様々な問題・課題に直面され、ご多忙な日々を送られていることと思います。

こうした環境下、青島日本人会のなすべきことは会員相互の各種交流を通じて、明るく元気で活発な日本人社会を作っていく、お互いに助け合いより大きな力が発揮できるコミュニティーを育てていくことであると考えています。

2.青島日本人会の活動

今年1月に青木会長が離任されたことにより、会長職を引継ぐことになりましたが、会員の皆様のご協力・ご支援により、1年間の諸活動を終えることが出来ました。

青島日本人会の活動は非常に多岐に渡っております。

先ず商工会は会員企業の皆様に対して業務にお役立て頂けるような情報と交流の場を提供する為、セミナー並びに4つある部会での活動を実施致しました。

生活文化会は会員企業で勤務されている日本人職員並びに家族の方々、そして個人会員の方々の為のレクリエーション活動として、納涼会、運動会、新年会を実施し、更に青島市に対する社会貢献として海水浴場の清掃活動を実施しました。そうした活動以外では青島在住の日本人の方々への情報提供として「月刊青島」を毎月発行してきました。

青島日本人学校は青島日本人会が設立した私立学校です。私立学校として学費収入と日本政府の補助により運営されるべきものという原則はありますが、青島日本人会としても全力でサポート行ってきました。学校経営を支える学校運営理事会のメンバーの大半は日本人会理事会の理事によって構成されています。そして青島日本人会としては領事館と協力して青島市政府に対して日本人学校への支援をお願いしてきました。

その他、婦人会、同好会、青島文庫等、会員企業の皆様そしてご家族の方々がより良い青島ライフをお過ごし出来るよう、様々な活動を行っています。

こうした活動を財政的に支えているのは会員の皆様から頂く会費収入です。昨年4月より会費の値上げを実施しました。1990年に日本人会が創設されてから初めての会費改定となりましたが、これも会員の皆様により良いサービスを提供する為のものであるということ是非ご理解頂きたいと考えております。

商工会・各部会活動・生活文化会・同好会・婦人会・日本人学校運営状況等、個別の活動の詳細につきましては、これより各担当理事の方よりご報告させていただきますが、これらの個々の活動のすべてにわたって、会員各位のご支援・ご協力に対し重ねて御礼申し上げるとともに、日本人会活動への更なるご支援をお願い申し上げ、私のご報告とさせていただきます。

以上

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 樋口達之
副会長 畑中俊昭、竹内達児、井上聡
高橋伸彦、広瀬俊、佐藤秀二

1. 活動実績

青島日本人会商工会は、「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供すること」を目的に活動しています。商工会には、専門性が高い分野別に、4つの各部会がありますが、2014年度に各3回の部会を開催し、業界内での情報交換と懇親会を行いました。そして2014年度は一般的な内容のセミナーは全て商工会セミナーに統一するという方針に基づき、過去4回であった商工会セミナーを合計7回実施致しました。

(以下、日時、テーマ、講師の順です。敬称省略)

第一回(6/4 市南区、6/5 黄島区)

- ・最近の中国情勢と日系企業の動向
- ・JETRO 北京事務所 真家陽一次長(調査担当)

第二回(8/21 黄島区、8/22 市南区)

- ・中国ビジネスの基礎知識と最近の会計・税務トピックス
- ・PwC 青島事務所 後藤洋一高級経理
- ・JETRO青島事務所 岩淵茂顧問

第三回(9/17 市南区)

- ・香港の仲裁機関に関する説明
- ・袁国強/香港政府律政司司長・法廷弁護士 他

第四回(10/23 黄島区、10/24 市南区)

- ・「日系企業の労務管理、万全ですか」～撤退時の労務処理から学ぶ日頃の労務管理テクニック～中
- ・大地(青島)法律事務所 熊琳代表(弁護士)

第五回(11/28 市南区)

- ・新時代に入る中国経済と再編過程の日系企業の諸課題
- ・華鐘コンサルタントグループ 古林恒雄総経理
能瀬 徹副総経理

第六回(1/15 黄島区、1/16 市南区)

- ・中国経済の現状と先行き
- ・日本銀行北京事務所 夏目晃裕代表
- ・JETRO青島事務所 岩淵茂顧問

第七回(2/6 市南区)

- ・ここに注意！中国の模倣品・商標先駆け登録問題の概要
中国における知的財産法の基礎、権利侵害の実情・対策について
- ・JETRO 上海事務所 秋葉隆充
IP FORWARD 分部悠介代表

第一回セミナーでは JETRO 北京事務所の真家様による中国全般の経済情勢並びに JETRO 実施の企業アンケートに基づく分析という非常に興味深い内容のセミナーとなりました。第二回セミナーでは PWC 青島事務所の後藤様から、会計・税務関連の非常にわかり易い説明を頂き、第三回セミナーでは香港政府 NO.4 の袁国強司長をお迎えすることになりました。第四回セミナーは法律関連で大地法律事務所の熊琳様に講演を頂きましたが、折しも 10 月に開催された四中全会では習近平主席が「法律による統治」を再三強調した直後のセミナーとなり、これもまた時期を得た内容となりました。第五回セミナーは初めて華鐘コンサルティングを講師にお招きしてのセミナーとなりましたが、古林様から「新常态」に関する貴重なお話、能瀬様からは参考になる具体的事例説明を頂きました。第六回セミナーは恒例となった日銀北京事務所の夏目代表による中国経済に関する説明で、中国で働く私たちにとっては非常に励みとなる内容でした。最終の第七回セミナーでは知財に関する内容で、JETRO 上海事務所の秋葉様、IP FORWARD の分部様から非常に分かりやすい説明を頂きました。

全体として 7 回のセミナーを通して様々分野の専門家の方を講師にお招きして、会員企業の皆様にとって有益な情報提供が出来たものと考えております。

また、2013 年度は黄島での開催を試験的に行いましたが、今年度 2014 年度は 7 回のセミナーの内 4 回を黄島でも本格的に開催しました。遠隔地の会員企業の方々にも参加しやすいようにしようとしたものです。

2014 年度の商工会の活動はセミナー開催と部会活動がその中心となりました。部会活動に関しましてはこの後各部会長の方々に詳細を報告頂くことになっております。

2013 年度は商工会として市政府に対して提言を行うという活動を行いましたが、2014 年度は特に提言という形で何かを申し入れてはおりません。ただ、事務局との交流並びに会食、青島外商投資企業協会の活動への積極的な参加を通じて、青島市政府関係者とのパイプの維持に努めております。

最後にセミナー開催に当たって全面的なご協力を頂きました JETRO 様、並びに商工会活動にご参加頂きました会員企業の皆様に感謝申し上げて、私の報告を終わらせて頂きます。有難う御座いました。

以上

* 食品部会

部会長 井上聡
副部会長 蔭島末彦、大谷典義、菅野郁夫

1.開催実績

第1回:5月23日(金) 場所:青島海葡萄有機緑藻研発養殖有限公司

- ・海ブドウについての講話
- ・養殖施設視察
- ・花園において懇親会(海ブドウの試食)

第2回:9月19日(金) 訪問先:青島聯合包装有限公司

- ・ダンボールの基礎知識に関する講話
- ・ダンボール製造現場視察
- ・吉兆において懇親会

第3回:12月5日(金) 訪問先:大多福食品(青島)有限公司

- ・お好み焼ソースに関する基礎知識に関する講話
- ・ソース製造現場視察
- ・お好み焼き、タコ焼き等の試食
- ・吉宗において懇親会(納会)

2.活動報告

2014年度は会員の皆様ならびにご訪問させていただきました企業様のご理解とご支援を頂き、当初計画のとおり3回の部会を開催することができました。

内容につきましては前述のとおり、現場主義をコンセプトに食品に関連する企業様を訪問し、ご講和を頂き、実際の製造現場を視察させていただきました。

各回の参加者は平均で40名程度と当初期待しておりました人数には若干届きませんでした。セミナー中心で実施した2013年度と比較しますと参加者は15%程度上回った結果となりました。

ご協力頂いた企業様には重ねてお礼申し上げます。

3.2015年度活動方針

2015年度も食品関連企業様または関連施設等の視察とその後の懇親会という形式で活動していきたいと考えております。

具体的には5月、9月、12月の年3回の開催を計画しております。

また、引き続き在青島日本総領事館、ジェトロ青島事務所、北京の中国日本商会等との連携を密にし、会員の皆様に有用な情報を発信していきたいと考えています。

* 繊維部会

部会長 竹内達児

副部会長 山田眞久、佐野寛明

1. 部会開催状況

2014年度は、年3回の開催を目標とし、6月、10月、3月の計3回、部会を実施致しました。部会の方針として、必ず1回は、市内ホテル開催ではなく、市外に出て工場見学等を行おうと決めており、10月の第二回目に実行しました。

尚、第一回目、第三回目は、青島市内のホテルにて会合を行い、その後、近郊で懇親会を開催して相互交流を深めました。

第1回 6月27日(金)

会議場所:クラウンプラザホテル

懇親会:蟹遊亭

第2回 10月17日(金)

工場見学:青島新東機械有限公司(胶州市)

懇親会:胶州市内 日本料理店「瀧」

第3回 3月27日(金)

会議場所:クラウンプラザホテル

懇親会:吉宗

2. 活動内容

・第一回目は、新年度に変わり会員メンバーの交替もあり、各会員の自己紹介を中心に実施致しました。

・第二回目は、新東機械様にご協力を頂き、工場見学・案内を実施。異業種ではありましたが、管理手法、経営方針、苦労話等、様々な意見を聞くことができ、出席メンバーの刺激になったと思います。

・第三回目は、年度末ギリギリではありましたが、領事館様、JETRO様からの近況・トピックスの発表をお願いしたのと、会社紹介として、青島在住11年の青島NAPS・岩田総経理からのご発言と、リクルートホールディングス中国法人の池田様より、中国アパレル企業の人材募集状況等を発表して頂きました。その中で、中国日系企業の求人案件数は、前年比増加傾向と聞いた事が意外でした。

3. 2015 年度の活動(方針、抱負)

- ・参加者拡大の方針は継続し、部会メンバーの情報交流をさらに深めたいと考えており、年 3 回の開催を予定しています。
- ・現時点予定としましては、第一回部会は、6 月 12 日(金)を考えておりますので、多数の会員の皆様のご参加を期待しております。内容としましては、新年度開始にあたり、参加メンバー全員の自己紹介を行い、その後は、各メンバー様からの悩み事、諸問題・諸事情などについて、発表して頂き、相互情報共有を行い、問題解決策等についてお互いに議論するといった形式の会合にしたいと考えています。
- ・第二回目、第三回目の日程は未定ですが、一度は市外へ出て工場見学等を行うか、他部会様との合同情報交流会などを実施したいとも考えております。
- ・尚、部会幹事は昨年同様、竹内・山田・佐野の 3 名で進めていきますので、何卒宜しくお願ひ致します。

*機械・電機・化学部会

部会長 畑中俊昭

副部会長 奥 憲明、田中博之、鈴木琢也

2014 年度の会は、研修会・セミナーは商工会で行う方針の下、会員相互の交流を深めることに主眼を置いた。第 1 回は会員各位から会社・自己紹介を行い、相互認識を深めた後、懇親会に移行した。第 2 回、第 3 回も初参加の会員各位には会社・自己紹介をお願いし、懇親会を盛り上げる事に注力した。懇親会の席上では、会員相互の交流に加え、企業間情報交換、外資進出の情報交換、いい意味でのノウハウ紹介と共有、行政機関対策や税関・商検局・税務局対策等の情報交換にも有意義な場の提供に貢献出来たと考える。

第1回:懇談会 参加者 26 名
日 時:2014 年 6 月 11 日 16:00~21:00
場 所:クラウンプラザ 3 階 懇親会:日本料理「青柳」
内 容:①会員自己紹介②懇親会

第 2 回:懇親会 参加者 21 名
日 時:2014 年 10 月 28 日 18:30~21:00
場 所:日本料理「蟹遊亭」

第 3 回:新年会 兼 懇親会 参加者 32 名
日 時:2015 年 1 月 8 日 18:30~21:30
場 所:日本料理「博多」

* 流通サービス部会

部会長 高橋伸彦
副部会長 根占浩司、廣田至夫、船越隆之

1. 総括

流通サービス部会は、運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つめるのが大変な中、なるべく皆様に興味を持って頂くようなテーマの講演を企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用頂ければと考えております。

今年度は、以下の通り3回の部会を行いました。

第一回は、年度初めの顔合わせということもあり、日本食レストランで懇親会を行いました。第二回は、黄島にある保税港区の見学会を行いました。自動車専用バス、輸出品の品質検査機関など普段はなかなか立ち入れない場所の見学もすることができた貴重な機会となりました。

第三回は、青島規画展覽館の見学会を行いました。この展覽館は2012年2月にオープンしたもので、石老人地区にあります。巨大な立体模型や360度スクリーンによる映画等で、青島市の過去、現在、未来が紹介されており、青島市の新たな面を知ることができました。

2. 活動内容

第1回 2014年5月28日(水) 懇親会のみ:八坂

第2回 2014年9月3日(水) 懇親会:八坂
黄島保税港区見学会(自動車専用バス、輸出品の品質検査場)

第3回 2014年12月17日(水) 懇親会:吉宗
青島規画展覽館見学会

3. 次年度について

できるだけ多くの会員に参加頂けるよう企画に工夫をこらして参りたいと考えています。講演のテーマや会のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければと思います。

今年度は、3回から4回程度の開催を予定しています。第1回は年度初めの顔合わせの意味もあり、盛大に懇親会を開催する予定です。ぜひ皆様の参加をお待ちしております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 江口規和
副会長 加藤英次、船越隆之、大芝光輝
菅野郁夫、清水雅彦

生活文化会は、青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動や地域貢献活動、生活文化関連の様々な取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「6つの同好会(2015年4月1日現在)」が帰属し、其々が青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆様の安全を確保し、快適な青島での生活を送って頂くため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

主な行事活動

2014年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催で様々な行事を企画し、会員の皆様のご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2014年度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、報告申し上げます。

1.6月28日(土)「青島日本人会運動会」

昨年同様青島日本人学校の体育館にて開催。当日は約180名の方が参加し、赤、青、白組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、綱引き、玉入れ競争、また、今年新たに企画された長縄跳び、ウルトラクイズ、宅配便リレーも加わり各種競技に熱戦を繰り広げました。特に最初の競技であるビーチボールバレーでは、昔のイメージ通りに手足が動かない中「スーパープレー」や「珍プレー」の連続で、一球ごとに歓声が湧き上がる盛り上がりでした。その後の競技でも、ご家族揃ってご参加される姿も多く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

2.7月12日(土)「社会奉仕活動」

昨年に引き続き、中国に暮らす我々が現地で何か出来ないかという考えの中、今年度も社会奉仕活動として青島第一海水浴場での清掃活動を実施することが出来ました。当日は趣旨にご賛同いただいた中国人の皆様を含め約200名の方にご参集頂き、午前9時半から約1時間作業を行いました。参加者は海岸をそれぞれ歩きながらごみを回収し、綺麗になった海岸線を見ながら、心地よい思いで活動を終えることができました。

3.8月30日(土)「納涼祭り」

昨年からはまったこの企画も、日本人が多く集まる会の開催が難しい環境が続く中、開催場所選定等の紆余曲折はありましたが、「子供たちのために、子供たちが喜ぶ行事」を是

非行うんだという関係者の強い思いのもと、無事に麗晶大酒店(リージンホテル)のテニスコートにおいて開催することが出来ました。当日は金魚すくいや的あてなど、日本の伝統的な夏祭りの風景に加え、蒸し暑いお祭り日和の中、ビールも飛ぶように売れ、御出展頂いた美味しい料理に舌鼓を打ち、ご婦人中心に盆踊りも盛り上がり、大人と子供が一体となり、日本人の心を思い出す貴重な時間になったのではないかと思います。

4.11月15日(土)～11月16日(日)「第3回青島ジャパンデイ」

昨年に引き続き、青島日本人会、在青島日本国総領事館、JETRO、青島イオン等の主催により、青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンデイが開催されました。会員企業7社を含む日本食、日本製品などのブースが出展。日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介、茶道・華道等による日本文化の紹介を行いました。

週末には多くの中国人来場者がブースを訪問し、試食や実際に商品を手に取り、日本への関心が高まったものと実感しました。中国人の訪日人数は増加しており「爆買い」との流行語も生まれ、嬉しいニュースですが、まだ、訪日されていない方々へのジャパンプランドの御紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力等を発信する目的は十分果たせたと思います。

5.1月17日(土)「新年会」

青島日本人会最大のイベントである新年会を、今年は場所を青島万达艾美酒店(メリディアンホテル)に移し開催致しました。大人・子供合わせて約350名の会員の方々に参加頂き、盛大な会となりました。新年会の開催前には「餅つき」を復活させて、多くの子供たちが笑顔で餅つきを体験する姿を見て、事前の仕込み等は大変でしたが、やって良かったなど実感しました。

「獅子舞」による開会、ホテルが趣向を凝らした料理に舌鼓を打った後、日本人学校生徒による和太鼓をご披露頂きました。青島に暮らす子供たちの凛々しい姿、また素晴らしい演奏に会場は感動に包まれました。「変面」「各同好会の紹介」と続き、いよいよ毎年恒例の豪華景品があたる「プレミア抽選会」では、会員企業様からご提供いただきました商品の当選番号が発表されるたびに大きな歓声が湧き上がり、抽選会の余韻が残る中、最後に「万歳三唱」で中締めとしお開きになりました。

昨年に比べやや手狭な会場とはなりましたが、逆にアットホームな雰囲気の中、会員の皆様方には交流を深めて頂いたのではないかと思います。

本年度実施しました運動会、社会奉仕活動、納涼祭り、青島ジャパンデイ、新年会、などの開催にあたっては、様々なご支援、ご協力を頂いた関係各位、まだまだ経済環境厳しい中、多くの景品をご提供頂いた会員企業の皆様、開催前の事前準備、当日朝早くから会場準備頂いた皆様、会運営にご協力頂いた婦人会、同好会をはじめとするボランティアの皆様のお蔭で、会員相互の交流、親睦を深める非常に有意義な行事とすることが出来ましたことを改めて御礼申し上げます。

引き続き、生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」の発刊。日本人が多く住んでいる銀都花園にある「ちんたお文庫」を運営しております。更に、婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨットの体育系同好会と写真、青島歴史研究会の文化系同好会、そして昨今の大气汚染、鳥インフルエンザなど私ども青島に住む生活者の安全という面で総領事館と一緒に活動しています。以下にそれらの活動報告を乗せましたので、ご一読頂ければ幸いです。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

*ちんたお文庫活動報告

前期役員 稲本、長崎、伊藤

後期役員 長崎、伊藤、大橋

文庫蔵書総数	およそ 6,100 冊
新規会員年間総数	30 人
年間利用者延べ数	625 人
寄贈本年間冊数	625 冊

1.役員活動内容

- ・アルバイトへの仕事内容指示、チェック(週に一度)
- ・アルバイト休みの際の開館
- ・文庫休館のお知らせ作成
- ・文庫内の大掃除・蔵書整理(古い本の処分など)
- ・延滞者・帰国者などの管理

2.今年度活動報告

- ・役員会(日本人会にて2回)
- ・ちんたお文庫の、花園から銀都花園への再移転に伴う物件の下見
- ・ちんたお文庫の再移転
- ・移転に伴う、大掃除と蔵書整理(ボランティア参加)
- ・ちんたお文庫内にてイベントの開催
(読み聞かせとストーリーテリング 銀都花園移転後は毎月1回)
- ・ちんたお文庫入口の鍵を交換(セキュリティ強化を目的)

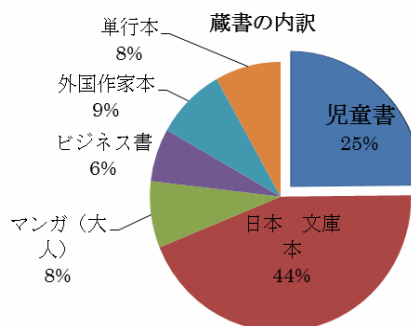
3 総括

昨年3月末に銀都花園から青島新聞中心4階にある花園さんへの引越し、8月の花園さんから銀都花園への再引越しと、2回の引越しがありました。そのため、4月から7月までの来

館者数は花園さん管理だったため不明ですが、再移転後の8月中旬からも来館者数は昨年を下回る結果となりました。

8月から、毎月1回のペースでぷくぷく文庫さんによる読み聞かせとストーリーテリングの会を開催し、読み聞かせの会の告知をフリーペーパーに掲載させていただいていましたが、一度離れてしまった来館者を呼び戻すまでには至りませんでした。8月の引越し後のアピール不足があったかも知れません。

また、ちんたお文庫の引越しの際に子供向けの本も寄付してしまったため、子供向けの本は漫画や育児本を含めても全体の4分の1程度となり、児童書が充実しているとは言いがたい状況になっております。



4.次年度への課題

今年度は先述の通りちんたお文庫の来館者数が減少してしまったため、ちんたお文庫が銀都花園に戻り、再び身近な存在として認識していただけるようにしていく必要があります。

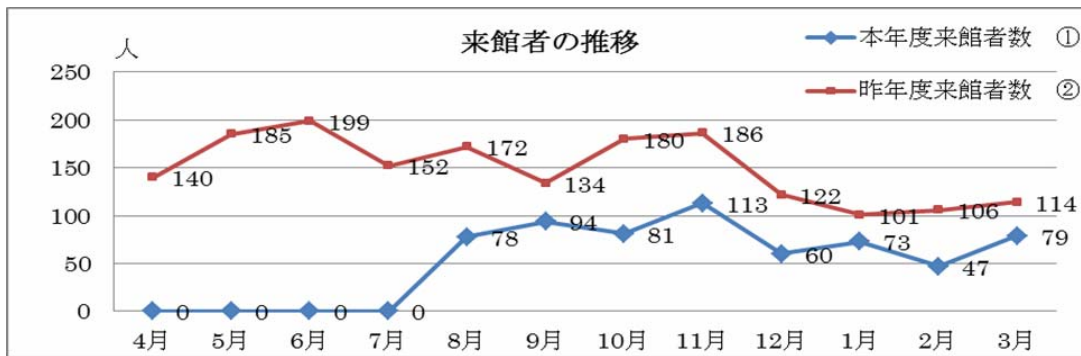
まずは、身近にいる新しく青島に来られた方へのちんたお文庫の紹介と新規会員登録の勧め、ちんたお文庫を支えて下さるボランティアメンバーが減ってきているため、ボランティアメンバー参加の呼びかけ、子供向け書籍の寄付のお願い、などを少しずつ行っていきたいと思います。

ちんたお文庫は、会員の皆様のご協力のもとに成り立っている図書館です。青島在住の日本人の皆さんに少しでも気持ち良く利用していただける図書館になるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

資料:年間来館者の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数 ①	0人	0人	0人	0人	78人	94人	81人	113人	60人	73人	47人	79人	625人
昨年度来館者数 ②	140人	185人	199人	152人	172人	134人	180人	186人	122人	101人	106人	114人	1799人
増減数①-②					-94人	-40人	-99人	-73人	-62人	-28人	-59人	-35人	-499人
新規会員					9人	3人	7人	8人	0人	1人	2人	0人	30人
新規登録本	0冊	0冊	0冊	0冊	22冊	79冊	94冊	234冊	5冊	0冊	32冊	79冊	545冊

*今年度7月まではデータなし



* 情報誌「月刊青島」

編集長 加藤 英次

「月刊青島」は、青島日本人会生活文化会が発信するWEB情報誌です。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月 10 日を目処に発信しています。2014 年度は月平均 1000 回に近いアクセスがありました。

「月刊青島」は、総領事館、ジェトロ及び青島日本人学校からのお知らせのほか、公認同好会だより、婦人会通信、グリーン放弾、おすすめレストラン等のコーナーやちんたお文庫だより、会員の動向等の情報を掲載しています。また、近年は、青島物語の転載、我が社の自慢、べんどおのバスに乗ろう、小三の青島放浪記といった新しい連載を行いました。日本人会会員の皆様の役に立つ生活情報や、「青島」における「縁」と「絆」を大切に多くの会員の皆様に誌面に登場していただけるようなコーナーを、2015 年度も掲載していきたいと考えております。

「月刊青島」は、日本人会会員の皆様のご協力・ご支援をいただき、そして皆様に支えられて発信を行っています。WEB情報誌や編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また、「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

* 安全活動委員会

外地で安全・安心な生活を送るために総領事館と連携を密にしながら情報伝達に勤め、環境情報や講演会の実施などをタイムリーに行います。

また、安全ネットワークとして会員のご家族を含め携帯番号を登録頂き、休日や夜間などPCの一斉メールでは届かない緊急性のある事件に対し、携帯電話に日本語で一斉に流すシステムを作っています。この仕組みを維持するために年1回は緊急情報テストを行います。会員の異動がある場合は速やかに事務局までご連絡をお願いします。

*青島歴史研究会

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

14年度は残念ながら、先輩の不幸や体調不良で青島での交流はできませんでした。特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。

一方、15年度は、青島日本人会の25周年になります。青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。これらの「青島会」と連絡を取りながら、戦前と戦後をつないだ「大青島会」に向けて活動を続けたいと思います。

*各同好会および婦人会活動報告

*婦人会活動報告

会員数:23名(2015年3月現在)

婦人会の活動として、毎年4月に行われる婦人会総会、年2回の定例会、12月に行われているクリスマス会が活動の中心となっています。定例会ではイベントを開催し、昼食を取りながら会員相互の親睦を深め、青島での暮らしに係わる情報交換などをおこなっています。また新しく青島に来られた方が1日でも早く青島の生活に慣れるように、様々なアドバイスやお手伝いをしています。

1.2014年度の活動報告

4月の総会后、6月・10月に定例会を開催し、懇親を目的とする交流会を実施しました。前年度同様 婦人会専用 Yahoo メールアドレスを引き継ぎ使用し、大使館、青島日本人会から配信されるお知らせ、各種イベントや生活情報、同好会や女性を対象としたイベントの案内を配信しています。

婦人会活動をより多くの人達に広めていく為に、日本人会マガジン「月刊青島」にて婦人会の記事を連載しました。婦人会カードは、様々な店舗のご協力賜り割引や特典といったサービスを受ける事ができました。

2.活動内容

2014年4月	総会 (La Luna Rossa)	22名参加
6月	定例会 (青島世界園芸博覧会)	17名参加
10月	定例会 (黄島ツアー・ライオン工場見学)	19名参加
11月	料理講習会(シャングリラ・カフェヤム)(非会員3名を含)	19名参加
12月	クリスマス会(シャングリラ・ダビンチ)	17名参加
	天皇誕生日レセプションパーティー	(役員4名参加)
2015年1月	青島日本人会新年会の受付ボランティア	(役員4名参加)

3.来年度の抱負として

青島日本人会生活文化会内の組織として、青島に在住される日本人女性と日本人配偶者を持つ女性の親睦・交流の場となるようなイベントや懇親の機会を計画し、より多くの方が気軽に参加できる環境を整えていきたいと思っております。メールによる生活情報の発信、日本や青島外からの問い合わせには、個別に対応することで、新たに青島へ来られる方の不安を取り除き、新生活がムーズにできるようにバックアップしていく所存です。会員の皆様が楽しく有意義な青島生活を送ることができるように、婦人会の輪が大きく繋がり、お役に立てるよう微力ながら努力したいと思っております。

4.年間予定行事（予定）

婦人会総会:4月 定例会:6月・9月 クリスマス会:12月

*ゴルフ同好会活動報告

会長 小森茂樹
事務局長 山口真一

2014年度	開催日	開催地	参加人数
第105回	2014年3月29日	華山GC	47
第106回	2014年5月17日	海陽タイガービーチ	31
第107回	2014年7月5日	桃源（Cコース）	49
第108回	2014年9月13日	嶺海温泉	51
第109回	2014年11月1日	石老人	62
		延べ参加者数	240名

お蔭様で昨年度(2014年度)は、上記の通り5回のコンペを別々のコースで開催し、延べ240名の方々にご参加いただきました。

昨年度も、数多くの企業様、団体様、個人様から賞品をご提供いただきました。

賞品をご提供くださった企業様、団体様各位に改めて感謝の意を表しますと同時に、今後とも広く会員の皆様方からのご協力・ご協賛を宜しくお願い申し上げます。

皆様の金額的に負担にならない範囲(サンプル品等大歓迎)で、商品等をご提供いただければと存じます。

コンペ後の表彰式及び懇親会では、個別にご協力に対する敬意を表明したいと考えております。ご賛同いただける企業様、個人様は、是非とも事務局にお申出をお願い申し上げます。

2015年度は3月最終週に、『青島総領事杯』として開幕戦を実施致しました。

(石老人GCにて、参加者50名)

次回の第111回コンペは、5月16日(土)の予定です。(開催コース未定)

今年度は、以下の日程でコンペを予定しております。これまで参加出来なかった方々も、是非お気軽にお申込み下さい。(日本人会一斉メールより、「コンペのご案内」を配信する

予定です)決して「敷居の高くない。誰もが楽しめるようなコンペ」を企画しておりますので、引続き宜しくお願い申し上げます。

《2015 年度日本人会ゴルフコンペ 開催予定表》

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
回数	第110回		第111回		第112回		第113回		第114回	
日	28		16		4		5		7	
曜日	土		土		土		土		土	

場所 石老人

*テニス同好会

会長 田崎智明
会計 大橋一夫

1.会概要

目的: テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る。
 会員数: 2015年3月末現在、35名(男性31名/女性4名)にて運営
 会費:600元/半期(高校生以下は300元)
 活動場所/時間:銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30
 練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習
 11:00~12:30 レベル別試合形式での練習
 (12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2.年間活動

定期活動:毎週日曜日の定期練習
 イベント: ・4月 懇親会
 ・9月 チーム内紅白戦
 ・11月 韓国チームとの交流戦
 ・12月 クリスマス会
 対外試合: ・10月 青島杯(韓国、中国チームとの団体戦)
 *帰国及び異動される方がいる場合、適宜、送別会実施

【収支】

前年度繰越金額	11,064 RMB
2014年度収入	39,611 RMB
2014年度支出	35,779 RMB
残高	3,832 RMB
次年度繰越金額	14,896 RMB

3.総括

2014年度も、ほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。2014年度は上級者から初中級者まで幅広く新入会員の方々が入部され、テニス同好会会員の層が厚くなったと実感しています。メンバー一同日々技術向上を図り、上級者にとっては一つの目標であった「青網杯」ベスト8を果たし、初中級者にとっては初の対外戦となる韓国チームとの交流戦に参加しました。

テニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やクリスマス会などを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2015年度は、上位チームは「青網杯」で更なる上位進出、初中級チームは、対外戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

* 青島ソフトボール同好会

2014年度 会長:大芝光輝 事務局長:上原実

2015年度 会長:石田昌久 事務局長:岩本順

1.会概要

ソフトボール同好会は、『ソフトボール及び野球を愛する会員の相互親睦と技術向上を主たる目的とする』をモットーとして活動している。2014年12月末現在、一般会員63名(男性59名/女性4名)が在籍し、運営は会長が会員より選任した19名により構成される委員会(運営・渉外部、企画部、会計部、事務局の計5部門)により行われている。試合は科技大学グラウンド(崂山校区)にて毎週日曜日の午前8時15分~12時30分に行われ、年会費は男性600元・女性400元・学生300元・家族および夫婦800元となっている。

2.年間活動

3チームの各キャプテンにより、1月のドラフト会議で所属する選手を選抜、その後チーム名とユニフォームを決定し、3月2日に“青島ソフトボールリーグ戦『2014』”が開幕した。毎週日曜日に総当たり戦3試合を実施し、各チームが30試合(前期15試合、後期15試合)、約9ヶ月にわたる熱い戦いを演じ、12月7日には前期・後期の優勝チームによる年間優勝決定戦を経て、2014年度の優勝チーム(後藤キャプテン率いる「グリーンデイズ」)が決定した。当日、同好会総会にて優勝チームの表彰と優秀選手の表彰を行い、1年間の活動を締め括った。

3.特別活動

上海で開催される華東地区ソフトボール大会へ遠征し、春(5月)は昨年に引き続き2チームでの参加となり、1部準優勝・2部ベスト8であった。秋(11月)は3チームにて参加し、1部3位・2部3位・3部準優勝となり、全チーム入賞という結果を得る事ができた。また、中国人の野球チームや、杭州の日本人ソフトボールチーム、青島駐在中に同好会へ参加し日本へ帰任したOBのチームと、交流・親善試合を行った。この他にも歓迎会・送別会・ボーリング大会・ゴルフコンペなどの行事を開催した。

「2014年 月別活動実績」

	リーグ戦以外の行事など	賞品協賛
1月	ドラフト会議／新年会／ボーリング大会	
2月		
3月	リーグ戦(前期)開幕／プレイボールパーティー	
4月	早朝練習開始	
5月	第10回華東地区ソフトボール大会、焼酎チーム準優勝、ワインチームベスト4	朝日緑源様
7月	前期終了／海岸パーティー／後期開幕／中国人チームと交流試合	
8月		丸治皮革様
9月	杭州へ遠征し杭州ウエストレイカーズ様と親善試合	
10月	日本(大阪)にてOBチーム対現役チームの交流試合／ゴルフコンペ	
11月	第11回華東地区ソフトボール大会、BERRチーム3位、焼酎チーム3位、清酒チーム準優勝／後期終了	BISTRO 緑源様
12月	優勝決定戦／同好会総会／忘年会	
その他	日本人会主催の各種行事への参加と協力を行う。	

4.総括

2014年度は12名の新規入会者を同好会へ迎える事ができた一方、帰任・転勤にて約18名の方を見送る1年となりました。2015年度は「笑顔が絶えない」「楽しく魅力的な」ソフトボール同好会を目指してより一層努力することにより、会員増加につなげてまいりたいと思いますので、日本人会や各企業様による当同好会のご紹介や、ご理解・ご支援を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

以上

*ヨット同好会

代表:西垣健作

会員:大人7名、子ども8名

1.会概要

本同好会は、青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与する事を目的とする。

場所は青島オリンピックマリーナを主なエリアとし週末、船をレンタル、スクールレッスンを中心に活動しています。練習を通じセーリング技術の向上、体力作りをメンバー皆で楽しく行っています。大人はディンギー(キャビンの無い船)だけでなく今年も青島で開催されるCCOR(城市倶楽部帆船賽)、青島航空杯のクルーザーレースにも参加予定しています。子供達はヨットスクールで日本人だけでなく様々な国籍の子供達と一緒にセーリングを楽しんでいます。メンバーは随時募集しています。5月には無料のヨット体験会開催を予定していますので興味のある方は大人、子供問わず参加ください。

2.年間活動報告

4月 経験者(大人、子供)活動開始。

5月 初参加メンバーの為のヨット体験会開催。

6月-7月 子どもヨット教室活動開始。(タッカー、OPビギナー、OPアドバンス)

各チーム3-4名に分かれ毎週末活動を行うクラブ内レース参加

8月 夏休み中、子供達は個人的にスクールに参加。

大人は日本ターコイズチームと合流しクルーザーレース青島航空杯に出場し初優勝。

9月-10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始 ヨットレース参加(10月20日)

3.2015年度の目標

・子供達は世界中の子供達と一緒に練習を行い、毎月行われるレースに参加。

・大人達はディンギーでの個人レッスン、レース参加に向けてのクルーザーでの団体練習。

*青島写真同好会

会長:平田至範(連絡先 15553215582)
副会長:安川誠(連絡先 18663835022)
事務局:小野洋平(連絡先 18661812066)

2014年度	月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月度	4月13日	キャノン青島事務所	① 流し撮り	② モニュメント	③自由
5月度	5月11日	キャノン青島事務所	① 花	② 路地	③自由
6月度	6月8日	キャノン青島事務所	① 歴史をかじる	② 新しいもの	③自由
7月度	7月13日	キャノン青島事務所	① 夜景	② 水辺	③自由
8月度	8月10日	キャノン青島事務所	① 暑い	② 八大関旧跡	③自由
9月度	9月14日	キャノン青島事務所	① 夏	② 旅行	③自由
10月度	10月12日	キャノン青島事務所	① 教会	② スポーツ	③自由
11月度	11月9日	キャノン青島事務所	① 実り	② 秋	③自由
12月度	12月14日	キャノン青島事務所	① おいしそう	② 寒そう	③自由
1月度	1月11日	キャノン青島事務所	① クリスマス	② 新年	③自由
2月度	2月8日	キャノン青島事務所	① 赤いもの	② にぎやか	③自由
3月度	3月15日	キャノン青島事務所	① 春節	② 建築物	③自由

写真同好会では、「青島キャノン」様のサポートを受けて、毎月一回定例会を開催しています。

撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「コミュニケーション」「NAVI」「すまいるちんたお」に掲載されます。

また、日本料理店「熱海」様のご協力で毎月入賞作品を店内に展示しています。

日本人学校運動会やチャリティフリーマーケット、新年会等では撮影協力をさせていただきました。

また、今年はキャノン様のご協力で研修会や撮影会を予定しております。

今後も写真撮影にご興味のある方のご参加をお待ちしております。

以上

(4) 青島日本人学校運営理事会活動報告

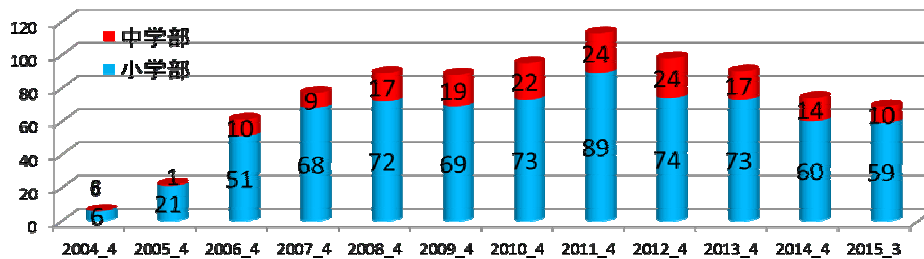
青島日本人学校運営理事会
理事長 手代木 和人
副理事長 廣瀬 俊

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

2000年開校の補習授業校時代を経て、2004年に創立した青島日本人学校は、2008年に現在の新校舎が完成し、大変充実した教育環境が整いました。

「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」という教育目標の実現に向け、青島の地域性を生かした教育課程を編成し、中国の自然、歴史、文化に触れる事で、国際人としての心を育て、国際性豊かな児童・生徒の育成を行っています。日本全国から集まった個性あふれる教職員の熱心な指導の下、生徒たちは、「大家族」の様な一体感のある学校生活を送っています。

2014年度は、前年度に創立10周年記念式典を終え、次の10年に向けた新たな一歩を踏み出す年となりましたが、中国の景気減速や大気汚染他の影響を受け、生徒数の減少傾向に歯止めがかからず、1学期始業式時点の74名(小学部60名、中学部14名)から、3学期終了時点で69名(同59名、10名)となりました。



青島日本人学校生徒数推移(人)

一方、一昨年来、生徒数減少による収入減で懸案となっておりました財政問題については、二度にわたる学費の値上げに加え、青島日本人会からの拠出金・日本国政府からの補助金の増額、皆様のご厚意による寄付(創立10周年記念、青島日本人会会員企業による任意寄付金、各種行事における収益他)に因り、健全化に向けた足場を固めることが出来ました。

同時に、在青島日本国総領事館のご協力も得て、青島市政府(外事弁公室、教育局、事務局他)に対し、粘り強く支援要請を行って参りましたが、従来より未解決となっていた懸案事項(家賃に対する不動産税、現地採用教員の個人所得税等)について、一定の成果を見るに至り、より具体的な改善策の検討に移れることとなりました。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決定
- ・ 各種報告(校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他)

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催(年 11 回)
(主な決議事項)
 - ✓ 2013 年度決算、2014 年度予算承認、現地採用教員の任免(4 月)
 - ✓ 体験入学規定改定、現地採用教職員の任免(7 月)
 - ✓ 「青島日本人学校規則(学年・学期、授業料)」改定(9 月)
 - ✓ 現地採用教員の任免(2 月)
 - ✓ 現地採用教員の任免(3 月)
- ・ 主催行事・活動
 - ✓ 青島日本人学校派遣教員歓迎会(4 月)
 - ✓ 青島日本人学校運営状況説明(2 月、入学説明会・PTA 総会)
 - ✓ 青島日本人学校帰任職員送別会(3 月)

【学校案内】

名 称:青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

校 長:登喜 龍一郎(2014 年 3 月 15 日着任)

教職員:文部科学省派遣教員(校長含む)10 名、現地採用常勤講師 2 名、
事務 3 名

住 所:青島市市北区同安路 56 号

学 費:入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月
(別途、スクールバス・PTA 会費他)

第2号議案

2014年度会計報告

(2014年4月1日～2015年3月31日)

2015年3月31日
(単位:人民元)


収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	271,946	1. 事務局費	246,925
2. 2014年度会費収入	815,400	2. 商工会活動費	46,400
法人会員	809,000	全体会	29,650
個人会員	6,400	部会	16,750
3. 臨時会費収入	123,750	3. 生活文化関連費	109,932
・総会懇親会会費	43,250	婦人会	3,162
・新年会会費	80,500	ちんたお文庫	35,000
4. 銀行利子	9,005	運動会	176
5. その他(寄付など)	0	月刊青島	35,200
		歴史保存会	0
		公認同好会支援費	18,590
		納涼会	869
		予備費	16,935
		4. 会議費	132,974
		総会	43,506
		新年会	89,468
		5. 日本人学校支援費	250,000
		6. ジャパンデー関連行事	40,008
		7. 情報整理(H. P改修等)	500
		8. 特別講演会の開催	4,000
		9. 安全対策活動費	6,870
		10. 予備費	0
		次年度繰越金	382,492
【合計】	1,220,101	【合計】	1,220,101


第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に規則り、第24期(2014年4月1日～2015年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2015年4月18日
青島日本人会 監事

清水康継 

中川伊正 

第4号議案

2015年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

	名前	所属企業名	職位
理事	朝倉 拓和	青島松下電子部品(保税区)有限公司	総経理
理事	井上 總	青島丸魯大食品有限公司	総経理
理事	大芝 光輝	青島光輝工芸品有限公司	総経理
理事	大谷 典義	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
理事	大山 浩司	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	奥 憲明	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	蔭島 末彦	青島日東食品有限公司	総経理
理事	加藤 英次	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	菅野 郁夫	新日清制粉食品(青島)有限公司	総経理
理事	佐藤 秀二	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表处	所長
理事	佐野 寛明	帝人商事(上海)有限公司 青島分公司	所長
理事	清水 雅彦	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	鈴木 琢也	伊藤忠(青島)有限公司	総経理
理事	高島 勇介	日郵物流(中国)有限公司 青島分公司	総経理
理事	高橋 伸彦	三菱東京日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事	竹内 達児	青島藤華服装有限公司	総経理
理事	根占 浩司	雅瑪多国際物流有限公司青島分公司	総経理
理事	畑中 俊昭	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理
理事	樋口 達之	三井物産(中国)有限公司青島分公司	総経理
理事	平澤 寿人	丸紅(青島)有限公司	総経理
理事	広瀬 俊	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	藤井 伸明	三菱商事(青島)有限公司	総経理
理事	山田 眞久	青島萩原工業有限公司	総経理
監事	清水 康継	獅王日用化工(青島)有限公司	工場長
監事	中川 伊正	青島永旺東泰商業有限公司	総経理

第5号議案

2015年度事業活動計画

青島日本人会会長
廣田 至夫

1. 全般

青島日本人会は1990年に設立され、今年記念すべき25周年を迎えました。その間、会は順調に発展してきましたが、四半世紀という長い年月の中で、諸先輩におかれましては大変なご苦勞があったであろうことは想像に難くありません。諸先輩のご尽力に対して、あらためて感謝申し上げたいと存じます。

一方で昨今、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。青島日本人会としても右肩上がりの拡大はもはや期待できず、いわゆる成熟期を迎えています。こんな時にこそ、かねてから我々の持ち味として評価されている結束力や活力をフルに活かし、より安心でき、温かみがあって、明るく元気なコミュニティーとしての発展を目指したいと思います。

本年も引き続き、会員の皆様にとって有意義であること、明るく活気あふれる日本人社会の発展に寄与できることを念頭に、商工会活動、生活文化会活動、日本人学校の運営を軸とした活動を進めていく所存です。また従来どおり、在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所との連携と協力を通じ、市政府を始めとする各関係機関、地元中国の方々との交流も推し進めたいと考えます。

最後に、青島日本人会では激変する環境のなか、昨年度の理事会で会長職の輪番制導入という判断を行いました。この制度を導入することで、日本人会はますます開かれた運営が大切になってきます。今後も皆様の更なるご支援・ご協力を頂戴いたしたく、日本人会の活動に対し、ぜひ積極的にご参加いただくとともに、ご意見をお寄せいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- 青島市政府関係機関との交流を強化し、青島における円滑な企業活動環境の整備、青島在住日本人の生活環境向上のための提言活動
- 青島日本人学校の運営
- 緊急事態発生時の対応の整備、安全情報等各種情報の収集と発信
- 他国、他地域の日本人会、組織との交流及び情報交換
- 地域貢献活動への取り組み

3. 商工会

商工会会長
奥 憲明

2015 年度の活動方針

習金平体制も 3 年目に入り、3 月に開催された全人代においてはニューノーマル(新常态)をキーワードとして引き続き成長戦略の推進に取り組んで行く事、但し成長率目標はいままでの急成長から安定成長への移行をめざし7%前後とする事、環境汚染対策を更に強力に進める事などが方針として示されました。

懸案の日中関係においては昨年のAPEC以来関係改善に向けて漸く歩み出したかに思われます。しかしこれも3月に開催された三年ぶりの日中韓3か国外相会談においては、首脳会談への道筋が模索されたもののやはりそう簡単ではないようです。

一方で足元の民間交流においては、今年も春節休みに多くの中国人観光客が日本を訪れ円安メリットを享受して買い物を楽しんだり日本の文化やサービスを満喫したようです。今の時期、中国からの花見客に期待を寄せる観光地も多いと聞きます。中国で生活する日本人の一人としては日本からも、もっと多くの方に中国に来て貰い、その歴史や文化に触れて頂きたいと切に願う所です。

さて今年度の商工会活動におきましては従来と同じく、青島の日系企業が円滑に企業活動が出来る事、そして事業に成功される事、地域に貢献する日系企業として広く受け入れられる事をお手伝いできるような活動を行って参ります。具体的にはこれも従来と同じく、①4 つに分かれる各部会での情報交換、②セミナー開催を中心とした情報発信、③政府関係との交流を通して地域経済に深く関わる各企業の姿をアピールし理解と協力を求めることに取り組んで参ります。

1. 各部会活動について

各部会におきましては、それぞれ特色ある活動を行い会員企業同士の交流の場として有機的に機能していると思います。業種ごとに4グループを形成していますが、その枠にとらわれない、いわば異業種交流のような場も各部会のご意見をお聞きしながら今後作って行けたらと思います。

2. セミナー開催について

前年度は計7回のセミナーが開催されました。いずれもその内容や講師を吟味され多くの方々にご参加頂きました。今年度も会員企業の活動に必要な、あるいは役立つと思われるテーマをピックアップしJETROとの共催も含めて皆様への情報提供の場を設けて参ります。

昨年から本格化した黄島地区でのセミナー開催も継続致します。

3. 政府関係との交流について

ここ数年にわたり青島日本人会として、青島市政府事務局との交流を進め関係

強化に取り組んで参りました。今年度も総領事館、JETROと連携し、その関係を更に一歩でも深化させ、会員の皆様と市政府とのパイプ役としてお役に立つ事が出来れば、と考えております。

セミナーや政府機関との交流に関しては会員企業の皆様にご意見をお聞きしながら進めて行く場面もあるかと思っております。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

4. 生活文化会

生活文化会会長 清水 雅彦

青島において日本人駐在員が年々減少している中、日本人同士が心を通わせて、お互いにコミュニケーションを図ることができる場面を提供することを目的として活動してまいります。会員皆様方のご意見を頂きながら、昨年度実施した内容を充実させて、子供たちの笑顔が溢れる、ご家族全員が参加しやすい行事の開催を目指していきたくと思います。また、中国に暮らす我々が地域に何か貢献できないかという観点から、社会奉仕活動について積極的に実施してまいりたいと思います。

生活文化会のメンバーも大幅に入れ替わり、心機一転、頑張っていく所存です。今年度も皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

主な活動内容

- ①青島日本人会運動会・納涼祭り・新年会の企画実行
- ②青島総領事館、JETRO と連携し、青島ジャパンディの開催
- ③社会貢献活動の積極的な開催
- ④特別講演会の企画開催
- ⑤ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑥各同好会・婦人会への活動支援
- ⑦「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信
- ⑧青島の文化・歴史についての調査、研究支援

5. 青島日本人学校運営理事会

理事長 廣瀬 俊
副理事長 藤井 伸明

青島日本人学校は、青島日本人会が設立した、将来を担う児童、生徒と、その成長を全力でサポートする教職員が集う素晴らしい学校です。

新年度は引き続き登喜龍一郎校長の下、「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」という教育目標の実現に向け、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、魅力ある学校作りを進めてまいります。

また、今年度も、青島日本人学校運営理事会は、本校教職員共々、青島日本人会の活動にも積極的に参加させて頂き、皆様との一体感を醸成させていただき所存です。

残念ながら近年全体としての駐在員の減少もあり、児童、生徒数も減少しておりますが、この魅力ある、素晴らしい学校を継続運営して行くことが、今年度の学校運営理事会の最優先事項と考えて進めて参ります。

引き続き、日本国政府、地元政府への継続的支援要請、宣伝活動を行うと同時に、会員企業の皆様をお願いしております青島日本人学校に対する任意寄付金につきましても、受付を継続してまいります。また更なる改善策の検討も進めて行く所存です。

運営理事会一同、精一杯努力して参りますので、会員企業、個人の皆様、皆様のご理解、ご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第6号議案

2015年度 予算案

(2015年4月1日～2016年3月31日) (単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	382,492	1. 事務局費	293,000
		2. 商工会活動費	76,000
		全体会	36,000
		部会	20,000
2. 2015年度会費収入	804,000	地区分科会	20,000
法人会員(380社*2100元)	798,000	3. 生活文化関連費	110,000
個人会員(30人*200元)	6,000	婦人会	5,000
3. 臨時会費収入	140,000	ちんたお文庫	35,000
・総会懇親会会費	45,000	運動会	5,000
・新年会会費	95,000	月刊青島	30,000
4. 銀行利子	8,508	歴史保存会	5,000
		納涼会	5,000
		公認同好会支援	25,000
5. その他(寄付など)	0	4. 会議費	140,000
		総会	45,000
		新年会	95,000
		5. 日本人学校支援費	250,000
		6. ジャパンデイ関連行事	40,000
		7. 情報整理(H. P改修等)	2,000
		8. 特別講演会の開催	30,000
		9. 安全対策活動費	10,000
		10. 次年度繰越金	384,000
【合計】	1,335,000	【合計】	1,335,000